

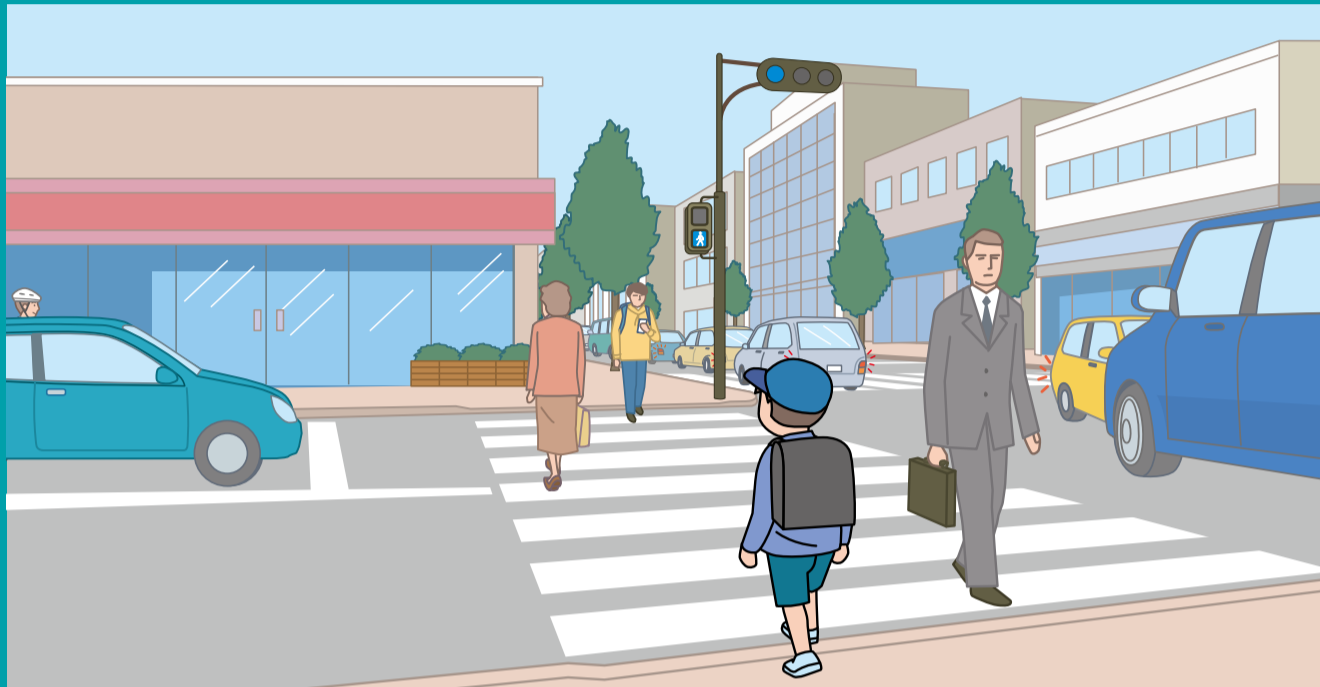
KYT 危険予測トレーニング

第81回 信号機のある交差点を渡る時 (子ども編)

あなたは交差点を渡ろうとしています。

歩行者用信号は青になっています。

このような時、どんなことに気をつければ良いか考えてみましょう。



交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回はお子さまに、信号機のある交差点を渡る時の危険について考えてもらうためのKYTです。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見ながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつければ良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

【使用上の注意】

ホンダ SJ 検索

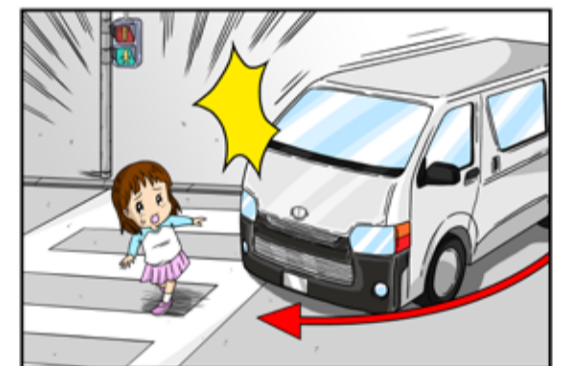
- 営利目的での利用はおやめください。
 - 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
 - その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。
- 本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736 E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業(株)

SJ クイズ ?

子ども編

- Q1** 小学生の歩行中の交通事故死傷者数(2020年)を学齢別に見ると、最も多いのは1年生で、その次が2年生です。小学生の中で1年生と2年生が占める割合は何%でしょう?
①約40% ②約50% ③約60%
- Q2** 小学生の歩行中の交通事故死傷者数を道路形状別に見ると、最も多いのは次のうちどれでしょう?
①交差点 ②交差点付近 ③単路
- Q3** 小学生の歩行中の交通事故死傷者数(第1当事者・第2当事者※)を法令違反別に見ると、次のうちどれが最も多いでしょう?
①飛び出し ②路上遊戯 ③違反なし
- ※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。
第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。



「解答」はP7下、「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。
<https://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

Safety Japan Action 2022

リスペクト～あなたから『おもうこと』『できること』～

Hondaでは、これまで春・秋の全国交通安全運動に合わせて取り組んできた「オールホンダ・セーフティキャンペーン」を今年度より一新し、「Safety Japan Action(セーフティジャパンアクション)2022」として、「リスペクト～あなたから『おもうこと』『できること』～」をスローガンに4月1日～5月15日の期間、Hondaの二輪・四輪の販売店や関連会社、各事業所で展開してまいります。混合交通下では歩行者をはじめ自転車利用者、ライダー、ドライバーなど様々な交通参加者が存在します。そこで、まず他者・他車に「関心を持ち(Interest)」、その上でお互いを思いやり「尊重する(Respect)」、そして「行動する(Action)」。これら3つをキーワードにSNSやQRコードから気軽に交通安全活動に参加いただける機会と場を提供します。ぜひ、皆様もご参加ください。

※お店や時期によっては、実施していない場合がございます

「春のSafety Japan Action」詳しくはこちら

Honda セーフティジャパンアクション 検索



二輪・四輪販売会社で配布している安全情報誌「Think Safety」



↑ご参加はこちらから



Safety Japan Action ロゴマーク